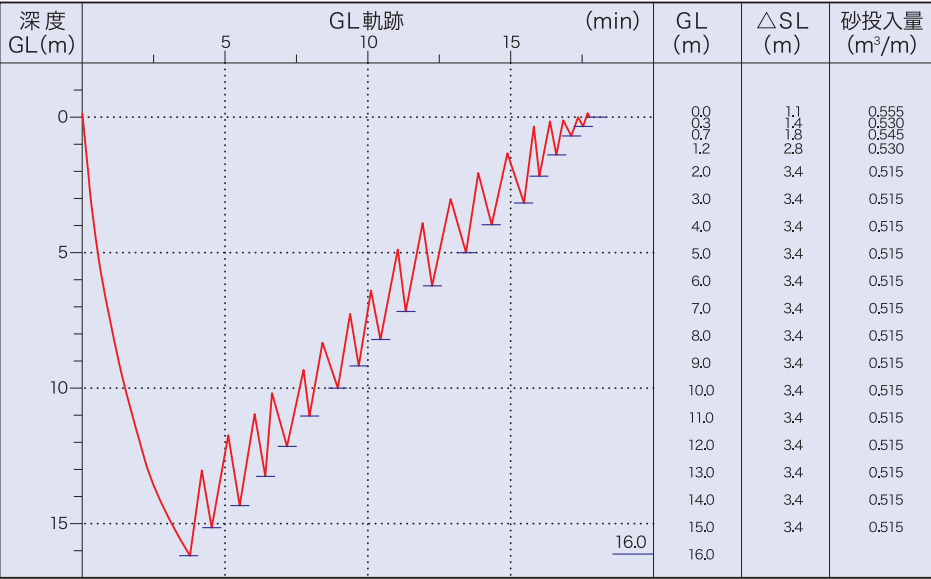


施工記録例

■砂杭系オシログラフ

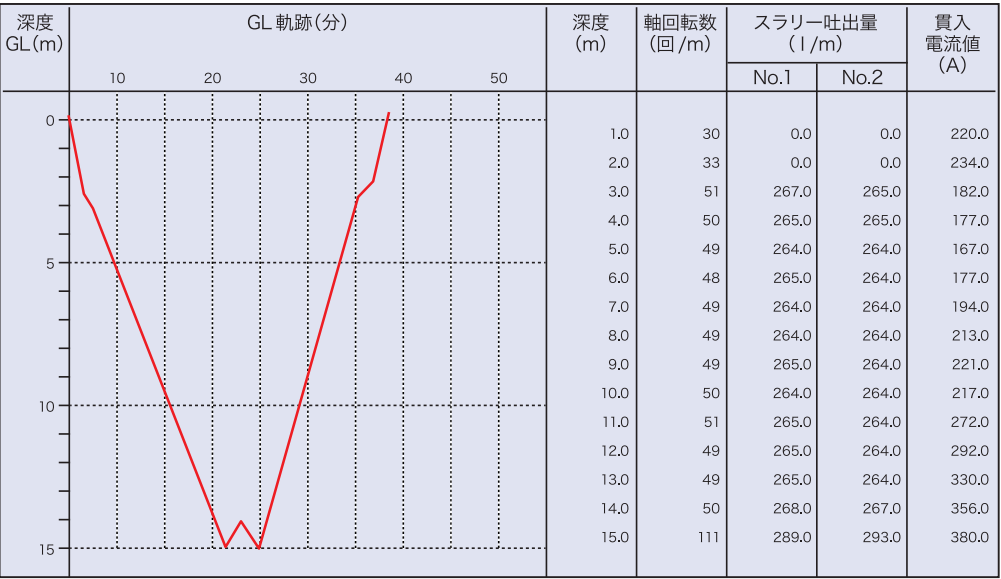
コンポーザーやSAVEコンポーザーの施工記録には、ケーシングパイプ先端軌跡及び砂量等が記録されます。
下図は陸上施工での記録例ですが、海上施工ではこの他に水深等のデータが加わります。



当日打設番号 12
貫入深度 16.0m
CP 部杭長 16.0m
SD 部杭長 0.0m
CP 部砂量 8.29 m³
SD 部砂量 0.00 m³
全設計砂量 8.19 m³
全使用砂量 8.29 m³

■固化系オシログラフ

固化系の施工記録には、攪拌翼の軌跡及びスラリー量等が記録されます。



基準値
m 当たりスラリー吐出量 (l/m)
第1層目 空打ち
第2層目 262

施工結果
貫入長 15.0
1層目杭長 3.0
2層目杭長 12.0

スラリー吐出量 (l)		
層番	No.1	No.2
第1層目		
第2層目	3470.0	3466.0
合計	6936.0	

着底部詳細		
深度 (m)	速度 (m/分)	電流値 (A)
14.6	0.6	378.4
14.7	0.6	383.6
14.8	0.6	395.4
14.9	0.4	398.4
15.0	0.3	402.1

コノス

CONOS

CONstruction Operation Supporting system

地盤改良施工管理システム

CONOSは、地盤改良機に搭載した施工管理システムです。複雑なあるいは多種類の施工仕様をシステムが判断し、オペレーターに指示を与えることにより、確実な施工が可能です。

わかりやすい施工記録

杭長や使用材料量等が自動的に計算されて記録されるため、施工記録がわかりやすくなりました。

迅速なデータ処理

施工データを専用ソフトで処理するので、集計作業がスピードアップされ、日報等の管理表を迅速に作成できます。

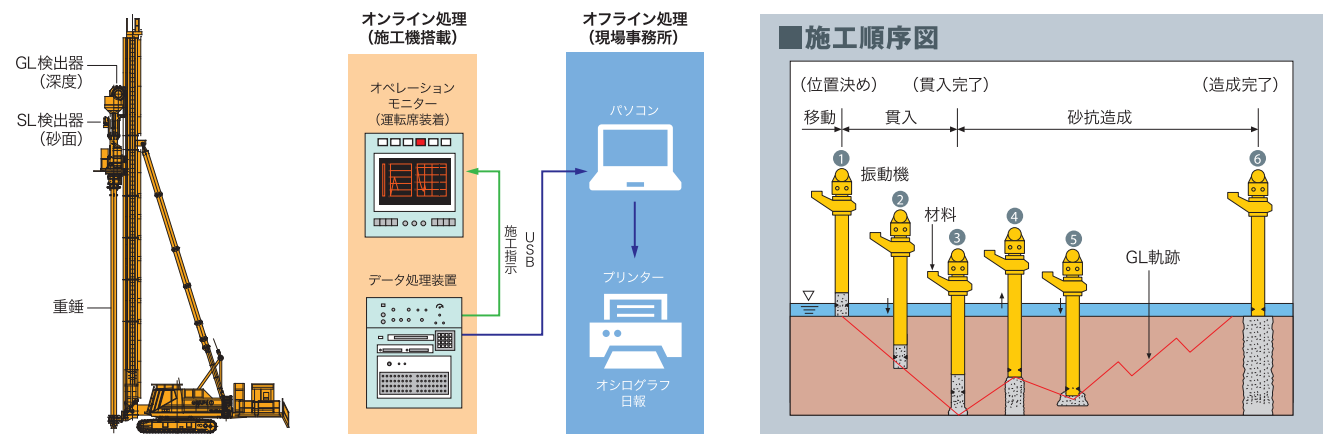
幅広い工法への適用

コンポーザー、海上コンポーザー、SAVEコンポーザー、SAVE-SP工法、CI-CMC (HA,HG) 工法、海上CMC、FTJ工法等に適用できます。



砂杭系

施工管理システム構成図

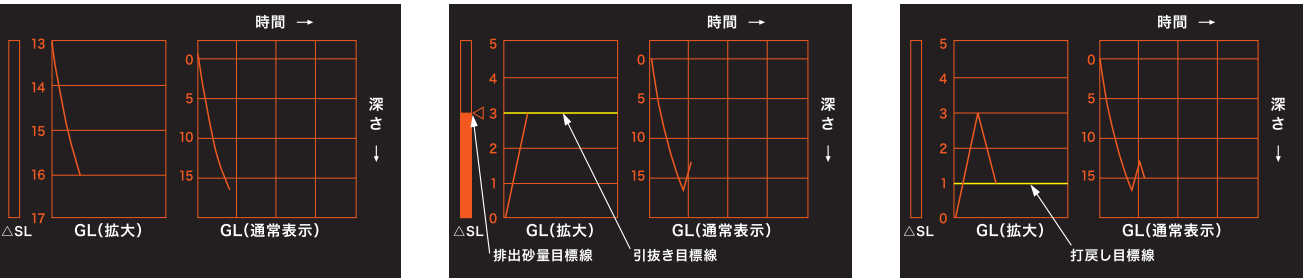


施工管理

確実な砂杭の造成を行うため、システムが施工の具体的な指示(引抜き目標や打戻し目標)をオペレーターに与えます。

■コンポーザー

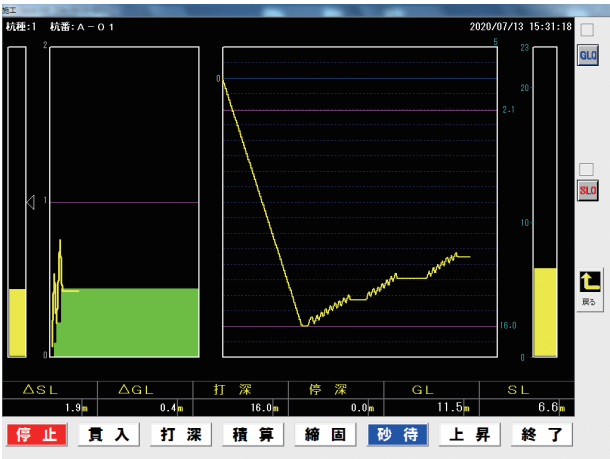
オペレーションモニター画面(例)



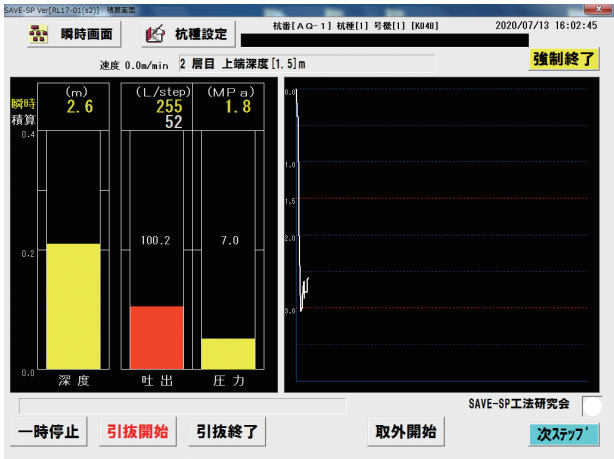
- 1 ケーシングパイプの貫入が所定の深度に達すると、オペレーションモニターのランプが点滅するとともにブザーで引き抜き開始を指示します。
- 2 材料を排出するためケーシングパイプを引き抜くと、排出量及び引抜き目線が表示され、それに達すると引き抜き完了・締め始め開始をランプとブザーが指示します。
- 3 締め始めを開始すると、打戻し目標線が表示され、それに達すると締め完了・再引抜き開始をランプとブザーが指示します。
- 4 2及び3を繰返して所定の設計仕様で砂杭を造成します。

モニター例

■SAVEコンポーザー

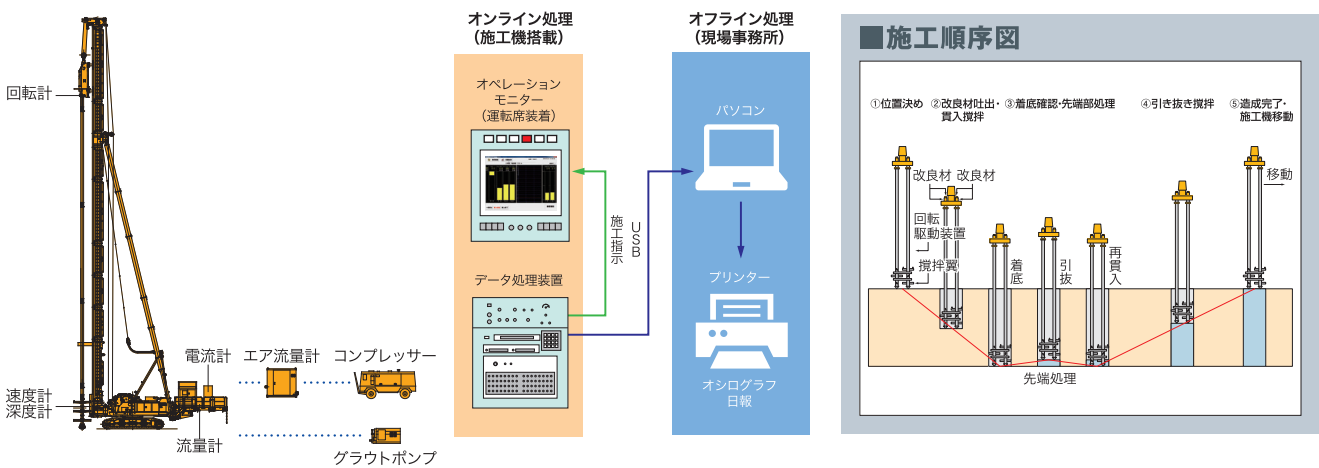


■SAVE-SP工法



固化系

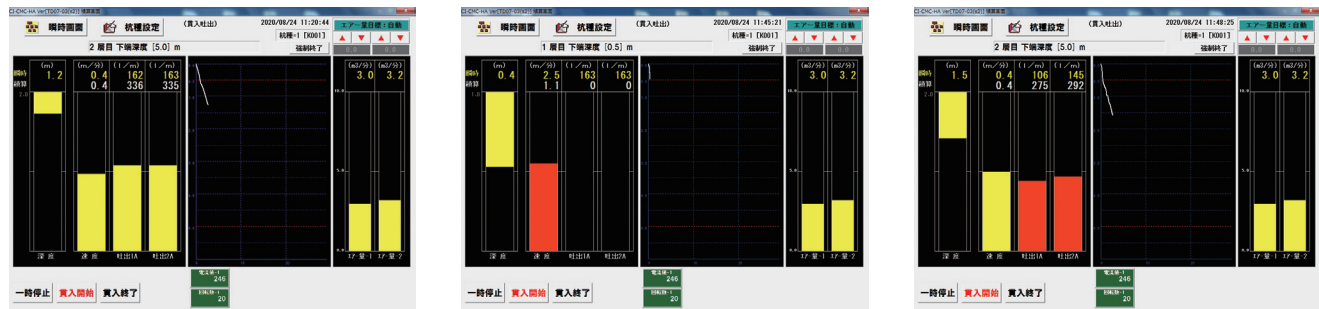
施工管理システム構成図



施工管理

確実な改良体の造成を行うため、システムが施工の具体的な指示(スラリー量、貫入引抜速度)をオペレーターに与えます。

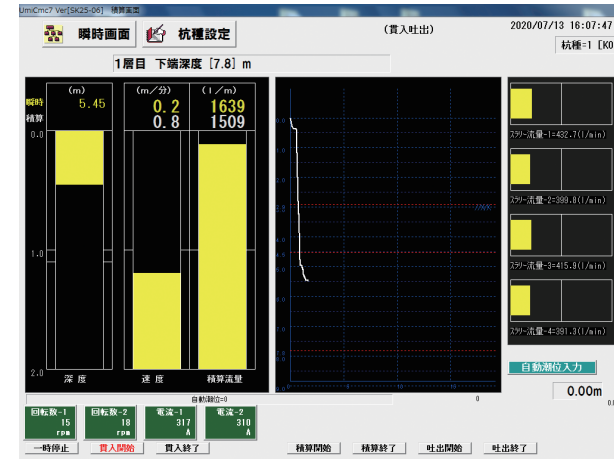
■CI-CMC-HA工法



- 1 攪拌翼の深度、貫入引抜速度、回転数、スラリー量、オーガー電流値、施工時間、エア流量がリアルタイムに表示可能されます。
- 2 設定した速度を超えた場合、バーが赤色に表示されます。
- 3 設定したスラリー流量を満たさない場合は、バーが赤色に表示されます。

モニター例

■海上CMC



■FTJ工法

